

# 専大スポーツ

【専大スポーツ】 <https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>

No. 405

専大スポーツ  
編集部  
公式WEB



Twitter @sensuponow  
Instagram sensuponow

## 世界ジュニアスピードスケート選手権

### 1500メートル & マススタート

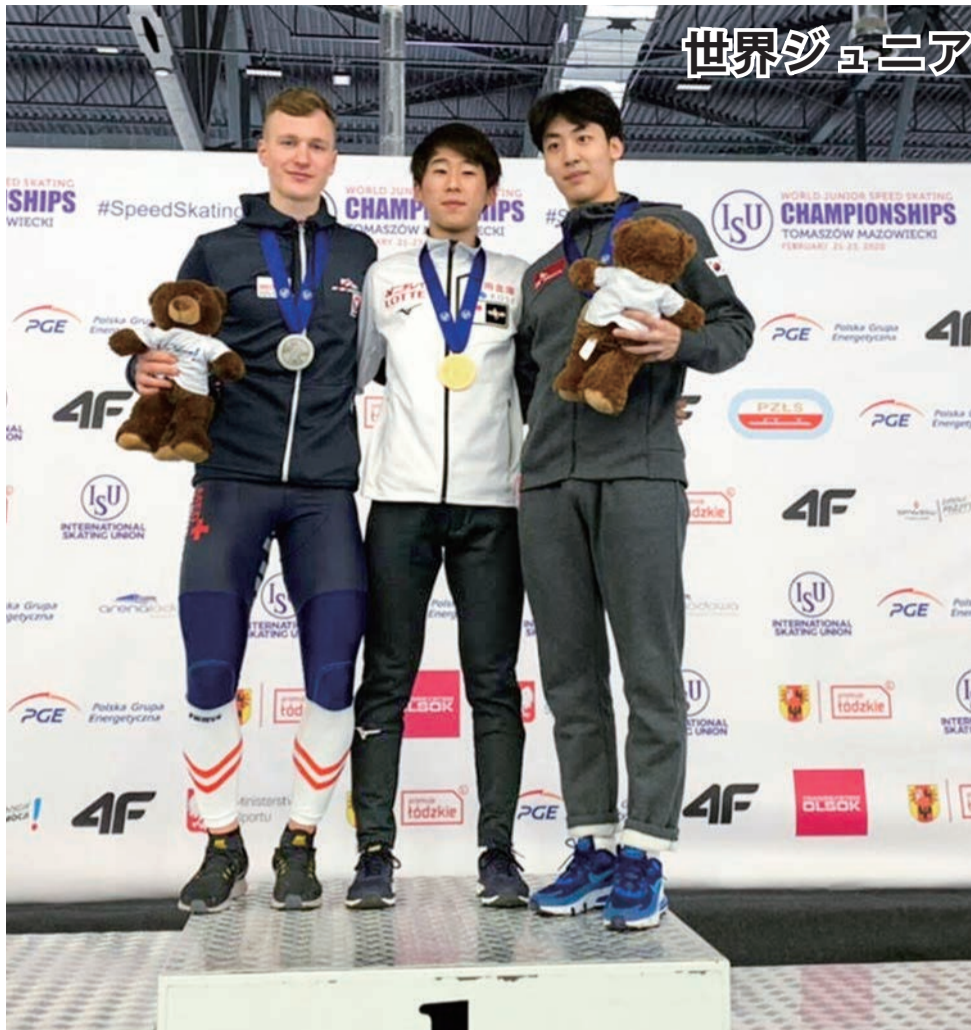
# 堀川が2種目で優勝

世界ジュニアスピードスケート選手権(2月21〜23日、ポーランド)に堀川翼(経営1・白樺学園高)と森重航(経営1・山形中央高)が出場。堀川が1500メートルとマススタートの2種目で優勝を果たした。

チームパシュートで2位、5000メートルでも4位と好成績を収めた堀川は、「今シーズンで一番の目標としてきた大会で優勝することができ、心からうれしい。来シーズンからはシニア部門となるが、そこでも活躍できるように、今後も頑張りたい」と決意を新たに話した。

森重も5000メートルで3位、1000メートルで4位、1500メートルで5位と表彰台に上がることができたことは良い経験となった」と語った。

(男神愛・商1)



1年次生コンビの堀川、森重が活躍

ジュニアワールドカップスピードスケート・ベラルーシ大会(2月15〜16日、ベラルーシ)で堀川翼と森重航の1年

次生コンビが活躍した。堀川はマススタートで1位、3000メートル、チームパシュートで2位、1500メートルで3位。「出場した全ての種目で表彰台に上がることができ、とてもうれしい」と大会を振り返った。

森重は500メートル、1000メートルの両種目で3位。「まだ100%の滑りができていない。しかし、改善していくための良いレースとなった。修正し、今後の大会で上位に入れるように努力したい」と話した。

(塩澤京夏・文1)

4人が全日本距離別出場権

全4戦の合計ポイントスピードスケート競技会を競うジャパンカップ・の全試合が終了。専大か

男子 4種目総合8位

全日本学生スキー選手権(2月24〜27日、秋田県・花輪スキー場)

アルペン、クロスカントリー、ジャンプ、コンバインドの4種目による学校対抗得点で、男子が昨年からの三つ順位を上げ総合8位となった。

個人では、ノルディックコンバインド10キロで木村吉大(商3・花輪高)が3位に入賞。クロスカントリーの30キロクラシカルで坂詰健太郎(商3・小出高)が4位、4×7.5キロリレーで渡邊基嗣

西野 Bリーグ秋田NHに

バスケットボール部男子の西野曜(経済3・近大附属高)がBリーグ東地区の秋田ノーザンハピネッツ(秋田NH)に特別指定選手として加入した。

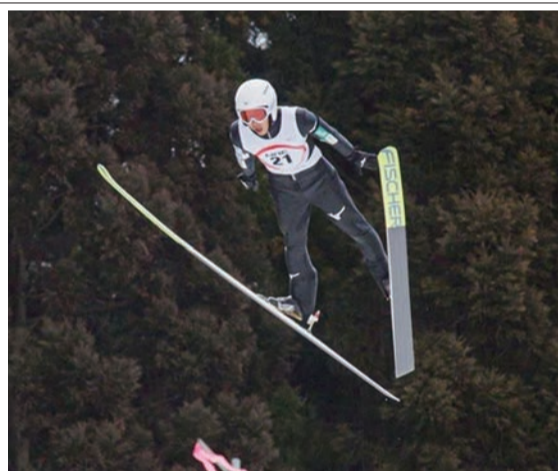
西野は198センチの長身を生かした得点力が武器。フォワードで、全日本の

上村が準優勝

U21男子卓球・サフィール国際オープン(2月19〜26日、スウェーデン)

パーフェクト  
清水が達成

全日本大学個人ボウリング選手権(2月18〜20日、埼玉県・新狭山グラウンドボウリング)



コンバインドノーマルヒルの木村



クロスカントリーで相手をかわす木村(右)

ら4人が各種目で10位以内に入り、11月の全日本距離別選手権の出場権を得た。

各選手の順位は、堀川大地(経営2・白樺学園高)が1000メートルで3位、1500メートルで6位、岩佐理央(経営2・帯広南高)が500メートルで6位、1000メートルで8位、高見澤光希(経営2・小海高)が1500メートルで7位、山口遼(経営2・帯広農高)が1000メートルで9位。

2種目で結果を残した堀川大地は「両種目とも自己ベストの更新を狙っていたので嬉しい。今後は表彰台を目指すとともに、タイムにもこだわりたい」と語った。

(塩澤)

悔しい思いをしたので、来年こそは優勝できるようにこれからのトレーニングに励みたい」と前向きに語った。

(大竹実穂・文2)



おわび

2月号12面の「JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会」の記事で齊藤憲司さんの写真を誤って掲載しました。正しい写真を掲載します。おわびして訂正します。